

季節の言葉」

春の空

(教科書三十六、三十七ページ)

①声を出して読もう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

意味…春は明け方がよい。だんだん白くなっていく山ぎわの空が、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがよい。

②自分の「春はあけぼの」を書いてみよう！

・春のどんなところが好きですか？

(例) 春風、お花見、桜、ピクニック、公園で友達と遊ぶ

・テーマを決め、「春は…」に続けて書いてみよう。

テーマ (例) 春風

春は、風。あつたかい春の風が、

ビューっつと、ふく。さへらの花びらが、

ひらひらとまいあがる様子もすてき。